

公益財団法人トヨタ財団
2023年度 国内助成プログラム

多様化社会を繋ぐ 地域の文化交流の場づくり

池鯉鮒大田楽 報告



中日新聞記事
2023年12月12日

あり様々な市
が立ちました。
歌川広重の「東
海道五十三次」
には馬市が描
かれていました。

知立市には外国籍の労働者
の方や家族の方が多く居住さ
れています。(令和5年現在で
5332名)こうした方々と
地元の方々との間に文化によ
るコミュニケーションの場づく
り

ができないか、それには大田楽
の躍りや日本の伝統音楽がよ
いのではないかと考えました。

昨年、池鯉鮒大田楽実行委
員会(代表久世泰男)を組織
し、公益財団法人トヨタ財団
2023年度 国内助成プログラ
ムにご採択いただき、「多様
化社会を繋ぐ地域の文化交流
の場づくりー池鯉鮒大田楽」
と題した文化交流プロジェクト
に2年間にわたって取り組
む事となりました。A.C.T.
JTはその現場を担います。
30年以上にわたり日本各地
で、わざおぎや市民参加は苦
楽を共にして大田楽公演を作
りあげてきました。それは子

どもや高齢者の居場所として
年齢を超えた交流の場になり、
青少年を地域の担い手へと育
んできました。また海外公演
においては、地元の市民参加者
たちと流ちょうな会話ができ
なくても楽しい時間を過ごし
てきました。こうした活動を
基に新たなチャレンジに挑むこ
とにしました。

この活動をするにあたって、
多大な協力をいただいている
のが、知立市弘法山遍照院の
皆様です。今回もワークショップ
の場所をお借りしたり、宣
伝していただいたりと大変お
世話になりました。

ワークショップ1回目は12月
10日(日)遍照院の厨房と大広
間にて、食文化で日本を楽し
む企画として巻きずしと稲荷
ずしを作りしました。家族や同
僚と参加された外国籍の方は、
楽しそうにできあがったお寿
司を家に持ち帰っていました。
中日新聞やケーブルテレビの取
材もありました。

ワークショップ2回目は1月
28日(日)遍照院の大広間で
「三味線と笛の演奏と体験」と



笛の体験



巻きずしに挑戦



完成

題し、実際に楽器を体験してい
ただきました。笛の石森裕也
さんの「いろは踊り」や三味線
の山尾麻耶さんの「カチャーシ
ー」など一緒に踊って盛り上
りました。

2月、3月は大田楽の躍り
のワークショップを開催しま
した。

4月20日(土)14時〜リリ
オコンサートホールにて「池鯉
鮒大田楽」を開催します。
ご報告は次号にて。



三味線の体験

愛知県知立市は名古屋から
名鉄で25分ほどの場所に位置
し、歴史ある町です。112年
に創建された知立神社は、東
海道三大社(三嶋大社、熱田神
宮、知立神社)の一つとして影響
力を持ち、戦国時代には徳川
家康の側室、於万の方を輩出
し結城秀康が誕生しました。
江戸時代には東海道の日本橋
から数えて39番目の宿場町
「池鯉鮒(ちりふ)の宿」という
名前で栄え、交通の要所でも